学習テスト 【第４回】10章～12章　　　年　　　組　　　番　　氏名

評価

Ⅰ　次の各文章について、文を短く区切ってわかりやすい文章になるように、必要な訂正を右側に書きなさい。（40点）

⑴　旧暦の六月は梅雨の最中で雨が多いのに、六月の異称は「みなづき」で「水無月」と書く解釈としては、ミナヅキのミが「水」で、ナが助詞の「の」にあたるという説が有力であり、つまり、ミナヅキは「水の月」だというのであり、結局、「水無月」と書くのは当て字ということになる。

⑵　インド料理店で本格的なインドカレーを初めて食べたジュンは、そのおいしさに自分で作ってみようと思い立って以来、様々なスパイスを買ってきて、カレーを作って家族に食べさせているが、家族からの評判は決して悪くない。

Ⅱ　次の文章は「話し言葉」的な表現になっています。「書き言葉」に改めなさい。（30点）

　映画じゃあ、荒野を歩いてきた旅人が、ふと立ち止まって足もとを見るってシーンがある。すると、懸命に生きているちっちゃな虫がいるし、精いっぱい咲いてる花もある。そんな自然、いや、大自然の仲間たちが旅人をはげますんだよ。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |

Ⅲ　次の文章を「である」体になるよう、該当部分に傍線を引き、右側に訂正しなさい。（30点）

　推理小説の中心はなぞ解きにあります。そのために、奇抜なトリックやアイデアの創意がこらされていますし、読者の心理を意識しまして、細かい計算の上に構成されています。ですから、推理小説はおもしろいのです。

《解答》

Ⅰ

⑴　旧暦の六月は梅雨の最中で雨六月の異称は「みなづき」で「水無月」と書く 解釈としては、ミナヅキのミが「水」で、ナが助詞の「の」にあたるという説が有力でつまり、ミナヅキは「水の月」だという、「水無月」と書くのは当て字ということになる。

　　　　　　　　　　　　　　↓

　　旧暦の六月は梅雨の最中で雨が多い。それなのに、六月の異称は「みなづき」で「水無月」と書く。その解釈としては、ミナヅキのミが「水」で、ナが助詞の「の」にあたるという説が有力である。つまり、ミナヅキは「水の月」だというのである。だから、結局、「水無月」と書くのは当て字ということになる。

⑵　インド料理店で本格的なインドカレーを初めて食べたそのおいしさに自分で作ってみようと思い立、様々なスパイスを買ってきて、カレーを作って家族に食べさせている家族からの評判は決して悪くない。

　　　　　　　　　　　　　　↓

　　ジュンは、インド料理店で本格的なインドカレーを初めて食べた。そして、そのおいしさに自分で作ってみようと思い立った。それ以来、様々なスパイスを買ってきて、カレーを作って家族に食べさせている。家族からの評判は決して悪くない。

Ⅱ

　映画では、荒野を歩いてきた旅人が、ふと立ち止まって足もとを見るというシーンがある。すると、懸命に生きている小さな虫がいるし、精いっぱい咲いている花もある。そんな大自然の仲間たちが旅人をはげますのである。

Ⅲ

　推理小説の中心はなぞ解きに。そのために、奇抜なトリックやアイデアの創意がこらされて、読者の心理を意識、細かい計算の上に構成されて。、推理小説はおもしろい。

　　　　　　　　　　　　　　↓

　推理小説の中心はなぞ解きにある。そのために、奇抜なトリックやアイデアの創意がこらされているし、読者の心理を意識して、細かい計算の上に構成されている。だから、推理小説はおもしろいのである。